

事業所名称	法人本部	定員	
サービス種別	法人事務局		
サービスの特色・方針	理事会・評議員会を運営します。 会計・労務等、各事業所に共通する事務機能を担います。 各事業所を横につなげることで法人の機能を高めます。		
社会福祉への取り組み	「認知症にやさしい地域を創る会」への参加、運営事務		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
利用者	■更なる公益的な取り組みの検討 ○生活困窮者の中間的就労、障がい者の地域移行などに法人としてどのような支援ができるか調査検討する。	
財務	■管理会計の徹底 ○進捗確認の確実な実施 ○保育士の確保数などの進捗に応じて開園後の収支シミュレーションを行なう。	○営業会議 月2回 ○年間収支予測 毎月
業務	■駅南保育園の開園準備 ○開園に向けての進行管理 ■記録のICT化 ○介護記録システムの選定・導入	○平成31年4月開園 ○平成31年3月までに導入
人材	■将来を見通した就労環境の整備 ○新たに顧問契約を結んだ社会保険労務士の助言を得ながら、深刻化する人材不足に対応した就労環境づくりを行なう。	○就業規則等の改正

事業所名称	特別養護老人ホーム 紫雲の園	定員	入 所 90名 短期入所 9名
サービス種別	介護老人福祉施設 (介護予防)短期入所生活介護		
サービスの特色・方針	法人理念である「大慈愛心」を実践するため、困難な事例においても積極的に関りを持ち続けることが、ご利用者の満足、地域社会の満足、職員の満足に加え、法人の永続性の確保や将来世代の満足に繋がるという信念を持ち、職員 1 人 1 人の専門性の強化や施設内のチーム力の向上に努めていきます。		
社会福祉への取り組み	比較的安価な自己負担額で利用できる従来型多床室である事が、地域においては大きな福祉財産であるという事を自覚し、法人減免の活用促進や生活困窮者の受け入れを積極的に行ってまいります。		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
利用者	ご利用者に安心・安全な生活を提供するために、9月・3月に介護力向上委員会を中心としたメンバーによって施設内研修を開催し、施設全体で認知症に対する理解を深めます。	全職員が認知症基礎研修修了レベルの知識を得る。
財務	施設が目指す介護サービスを広く知っていただくことにより利用率が向上するように、ホームページ等を利用して施設全体で広報活動を行います。	ホームページを毎週 1 回以上更新します。 【利用率目標】 入所：必達目標 98% 短期：必達目標 65%、最終目標 90%
業務	業務効率を改善し、生産性を向上させるために、新しい記録システムを導入し、効果的に運用する。	計画的に記録の電子化を進め、年度末には全職種の記録が電子化されていること。
人材	「おもてなし」の出来る人材を育成するために、年間を通じて学びの機会を作ります。	年間 6 回、主に外部講師を招いて法人内研修を開催する。

事業所名称	浅羽デイサービスセンター	定員	通所介護・現行相当 50名 通所型サービスA 15名
サービス種別	通所介護（第一号通所事業を含む）		
サービスの特色・方針	<p>多数の有資格者を配置し、安心・安全にサービスをご利用いただけます。</p> <p>入浴方法は一般浴・個浴、中間浴、機械浴があり、その方に合った入浴方法で対応します。レクリエーションは、身近な器具を使って体操をする機能訓練、ゲーム等で楽しみながら体を動かす遊びリレーションとグループに分かれて活動をしています。おやつ作りや調理、制作、野菜作りなどの他に、ボランティアの方による書道や詩吟、絵手紙、フラワーアレンジメントなども行なっています。1ヶ月に3団体以上のボランティアの方が歌や踊りなどを披露して下さり、ご利用者の楽しみにもなっています。</p> <p>希望者にはマシンを使用したパワーリハビリも実施しています。</p> <p>ご利用者が住みなれた家であるべく長く過ごせるように、自立を目指して支援します。</p>		
社会福祉への取り組み	社会福祉法人利用者負担減免制度があります。		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
ご利用者	<p>■ <u>ご利用者の生活の質を高めることにつながる機能訓練に取り組む</u></p> <p>○機能訓練加算Ⅰ、Ⅱ算定</p> <p>○ADL維持等加算（新設）算定準備</p> <p>■ <u>ご利用者にとって居心地の良い環境づくりと接遇マナーの向上に取り組む</u></p> <p>○フロアの改装やレイアウトを変える。</p>	<p>○機能訓練加算Ⅰの算定 5月～</p> <p>○機能訓練加算Ⅱの算定 5月～</p> <p>○フロアの改装</p> <p>○レイアウトを変える。</p> <p>○備品の交換</p> <p>○アンケート 一斉配布 2月</p>
財務	<p>■ <u>稼働率90%を達成する。</u></p> <p>○ホームページや通信誌配付による営業活動を行う</p> <p>■ <u>写真・映像を活用したPRの推進</u></p>	<p>○月間稼働率</p> <p>【目標値】 90%</p> <p>○居宅支援事業所へ営業訪問 2回/月</p> <p>○ご家族・ケアマネージャーへのPR</p> <p>○ホームページ更新 1回/月</p>

業務	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>加算要件を満たすための体制づくり、日課の見直し</u> ■ <u>介護記録ソフト導入し業務負担を軽減</u> ■ <u>マニュアルの更新</u> ○ 送迎業務に関わるマニュアル 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日課を見直しマニュアル作成 ～6月 ○ 介護記録ソフト導入 ○ 業務マニュアルの更新 ～3月
人材	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>内部研修</u> ○ 接遇について ○ 外部研修報告 ■ <u>外部研修に参加</u> ■ <u>QC活動の実施</u> ○ 計画的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 接遇について定期的実施 ○ 外部研修は1人につき1回は参加し、研修報告会、研修参加者は行動目標を立て研修期間を設ける。 ○ 委員会を立ち上げ、計画的に実施する。 2回/年

事業所名称	浅羽ケアマネジメントセンター	定員	
サービス種別	居宅介護支援事業		
サービスの特色・方針	<p>特色</p> <p>地域の社会資源を活用し、地域住民の方と一緒に支援体制を整えるように努めています。尚、24時間365日の相談受け付けをしています。</p> <p>方針</p> <p>法人理念のもと、利用者の自立支援に向けて、適切なサービスが提供できるように、公正誠実に業務を行う。</p>		
社会福祉への取り組み	<p>○社会福祉法人として地域の皆様との信頼関係を構築していく</p> <p>○介護が必要になっても、安心して住める地域作りの推進</p>		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
ご利用者	<p>■適切なマネジメントの実施</p> <p>○自らの選択・決定による生活が実現できるように支援する</p> <p>○利用者の状態の軽減又悪化の防止に資する。</p> <p>○その方の地域で生活できる支援体制及び社会資源の活用</p>	
財務	<p>■選ばれる事業所となる</p> <p>○介護支援専門員の基本倫理を守る</p> <p>○利用者・家族との信頼関係の構築</p> <p>○法人内事業所との連携</p>	<p>○H30年度給付管理件数目標 月：165件（介護給付のみ）</p> <p>H29年度給付管理件数目標 月：165件（実績160件）</p>
業務	<p>■利用者等の意向に基づき適切なサービスが公正・誠実に提供できるように連絡調整をする。</p> <p>○法令遵守</p> <p>○他事業所との連携</p> <p>○医療サービスとの連携</p> <p>○地域の社会資源の活用</p>	<p>○運営基準を各自理解徹底する。</p> <p>○入退院時の連携及び多職種との連携を図る</p>
人材	<p>■専門的知識及び技術の向上</p> <p>○言語化・文章化の力を磨く</p> <p>○事例検討での議論活性化</p> <p>○スーパービジョンの実施</p> <p>○県ケアマネ協会実施の研修参加</p>	<p>各自研修計画をたてる。</p> <p>年度末に研修評価をする。</p>

事業所名称	浅羽地域包括支援センター	定員	
サービス種別	地域包括支援センター		
サービスの特色・方針	高齢者の皆さんが、安心して住みなれた地域で暮らしていけるように、医療・介護・福祉・健康等様々な面から高齢者やその家族を支えています。どこに相談したら良いかわからない心配事や悩みを、しっかりと聞き取り、情報やサービスの提供、関係機関の紹介及び連携をとり、問題の解決に努めます。		
社会福祉への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防、自立生活への支援をいたします。 ・高齢者の権利を守ります。 ・コミュニティセンターにおける「まちづくり協議会」と連携を取り、暮らしやすい地域をめざしネットワークを創ります。 		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	地域アセスメントから見えてくる、安心な暮らしを、そこに住む人たちと一緒に考えていく。	全自治会を回り、地域アセスメントをし、5年先、10年先を考えた暮らしを一緒に考える。 住民と共に地域づくりを目指します。
財務	限られた財源の中で、効率的に活用する。	計画的な運用を目指す。
業務	市から示された重点取り組み事項の推進 1・地域ケア介護の開催 2・介護予防・日常生活支援事業の推進 3・在宅医療・介護連携の推進 4・認知症施策の推進	1・個別課題から地域課題解決に向けコア会議を含め年間10回以上の開催を目指す。 2・第2層協議体・第3層協議体の協力や、その事業の担い手の育成に努める。 3・地域の開業医との連携に努める。 4・認知症カフェの開催場所の増。 認知者サポーター養成講座の開催
人材	専門性を生かして、包括職員としての任務を遂行する。	積極的に研修会に参加し、自己研鑽に努める。 チームワークを基本とし、お互いに助け合って業務に取り組む。

事業所名称	ひなた	登録定員	29名
サービス種別	小規模多機能型居宅介護（介護予防含む）		
サービスの特色・方針	<p>利用者が在宅での生活を継続・維持できるように、また、ご家族が在宅での介護を継続・維持できるように「通い」「泊まり」「訪問」のサービスを組み合わせて臨機応変に対応・援助して行く。</p> <p>そのために、利用者ご本人、ご家族と相談を密にし、寄り添う介護を実践する。</p>		
社会福祉への取り組み	<p>①利用者の生活地域での溶け込み援助 ②緊急受け入れと入所までのつなぎ ③はいかい SOS 協力事業所 ④認知症に関する学習や啓発（認知症にやさしい地域を創る会）</p>		

今年度の挑戦（平成30年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
利用者	<p><input type="checkbox"/>元気に通って（利用）もらうために利用者個人ごとの生活・活動テーマを設けて笑顔のある交流・援助をする。</p> <p><input type="checkbox"/>生き生きとしたひなたの利用状況をひなた通信に掲載、話題としてもらう。</p> <p><input type="checkbox"/>サービスの提供が過剰にならないようにニーズ（介護度）に応じたサービスの提供を考慮する。</p>	<p><input type="checkbox"/>通所時メニューと個別の「かかわりテーマ」を整理する。</p> <p><input type="checkbox"/>利用者ごとの社会関係のわかる「マップ」をつくり、活用する。</p> <p><input type="checkbox"/>地域の子供等との交流の機会を創造する。</p> <p><input type="checkbox"/>公民館等へ利用者の作品を展示してもらう。</p> <p><input type="checkbox"/>運営推進会議へのご家族の出席数、出席率を高める。</p> <p><input type="checkbox"/>ひなた通信の発行（年4回）。</p> <p><input type="checkbox"/>新規利用者の受け入れ時には、職員間で事前にニーズを共有する機会をつくる。</p> <p><input type="checkbox"/>個別のニーズと利用者全体のニーズとの調整が上手く回る（その実感がある）。</p>
財務	<p><input type="checkbox"/>利用者の満足を得る安定した事業継続のために、多くの要介護者に利用してもらう。（前年度は利用者の入院、介護度の軽減化、重度者の施設入所などが顕著化した）</p>	<p><input type="checkbox"/>月間売り上げ（保険給付と給付外の合計）600万円を目指す。</p> <p><input type="checkbox"/>病院連携室、居宅ケアマネとの接触機会を増やし利用相談件数を増やす。</p>

<p style="text-align: center;">業 務</p>	<p><input type="checkbox"/>業務の統一と平均化のために各種マニュアルの見直しと周知・啓発を図る。</p> <p><input type="checkbox"/>働き甲斐のある仕事の実感と共感のために職員間のコミュニケーションの活発化を図る。</p>	<p><input type="checkbox"/>通所時メニューの整理と用具の整理整頓を行なう。</p> <p><input type="checkbox"/>利用者ごとの社会関係「マップ」を作成して共有する。</p> <p><input type="checkbox"/>内部研修等でマニュアルの点検・見直しを行なう。</p> <p><input type="checkbox"/>「事業所自己評価」への取り組み時期を早め、コミュニケーションの手段とするとともに事務・手順をスムーズに行なう。</p>
<p style="text-align: center;">人 材</p>	<p><input type="checkbox"/>臨機応変、全体の見渡しができる職員を相互に育成して行きたい（ともに成長）。</p>	<p><input type="checkbox"/>内部研修（6回／年）の開催。</p> <p><input type="checkbox"/>外部研修（ひとり1回以上）への参加。</p> <p><input type="checkbox"/>三宝会キャリアパスの共有。</p>

事業所名称	ルンビニ保育園	定員	90名
施設区分	保育所		
保育の特色・方針	ルンビニ保育園は、「健やかな心」を育てるために、お釈迦様の教え、『 仏教 』を基本理念として保育します。 園名の由来にもあるとおり、ルンビニ保育園は仏教保育をする保育園として創設されており、その保育目標を以下の3つとします <生命尊重> (1) めぐみの心を持ち、生命を尊重する子に育てる。 <修善> (2) 善悪をみきわめ、絶えず正しい方に進む子に育てる。 <協調> (3) 自分の立場を考え、他と協調できる子に育てる。		
社会福祉への取り組み	在園中の子育て家庭に限らず、地域の子育て家庭に向けても情報の発信に努めます。		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	■保育の標準化 ○感染症のガイドラインが見直しの時期を迎えているため、新しい情報の収集に努め、適切な対応を習得します。 ○子どもを中心においた保育を模索します。 ○子どもの育つ力を後押しします。	○職員全員に感染症に対する基礎知識習得を目指します。
財務	■こまめな節約を心掛けます ○入所可能児童数が定員数とほぼ同数であるため、児童の安全面に配慮しつつその他の部分で節約に努めます	
業務	■ホームページの作成と活用 ○園の情報発信 ○利用希望者の増加 ○就職を検討する学生へのアピール ■保育所保育指針改定 ○保育所保育指針の改定に併せ、内容の理解と実現に向け職員相互に読み合わせをすすめます。	○現在作成中のホームページの公開を急ぐと共に、その内容の充実を図る

人材	<p>■<u>職員のスキルアップ</u></p> <p>○保育士のキャリアアップ制度が本格始動するまでに、各種外部研修に参加しやすい人員配置を計ります。</p>	<p>○昨年同様、合同就職説明会等には可能な限り参加し、ルンビニ保育園の情報発信に務めます。</p>
----	--	--

事業所名称	ルンビニ第二保育園	定員	90名
施設区分	保育所		
保育の理念と方針	<p>・仏教を基本理念とし、子ども一人一人を大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指しています。又、《感謝の気持ち》を育て「ありがとう」が言える豊かな人間性を持った子どもに育成します。</p> <p>乳幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎を培う最も重要な時期です。保育の専門性を活かし乳幼児期を安全に保護育成していきます。又、乳幼児期に身につけなければならない基本的な生活習慣や必要な知識の芽生えを促すため豊かな体験と環境を設定しています。豊かな体験を通して子ども同士のつながりを深める中で保育、幼児教育がめざす人間形成の基礎(学びの土台・育みたい「10の姿」)を育てていきます。</p>		
保育の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・自園給食と食育 ・年齢別保育と縦割り保育の融合 ・体育指導、音楽指導、マーチングバンド、絵画造形、英語教室、茶道 		
社会福祉への取り組み	<p>地域子育て支援拠点事業の経営</p> <p>一時預かり保育事業の経営</p> <p>相談窓口の開設</p>		

平成30年度の取り組み		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
運営と業務	<p>■広報活動の強化と運営の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○延長保育料金の徴収開始 ○地域活動への参加 ○ルンビニしんぶん、ホームページ <p>■防災対策の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災マニュアルの見直し。 ○防災設備の確認 ○防災訓練実施方法の検討 ○避難計画の作成 <p>■建物、備品等のメンテナンスと修繕</p> <p>■保育環境の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般業務のICT化を図る ・多くの人に知ってもらい選ばれる保育園を目指す ・照明器具のLED化
経営	<p>■定員充足率は120%を目標とする</p> <p>○今後の情勢(駅南保育所、公立南地区子ども園の設営計画と少子化、0, 1, 2歳児の待機児童状況)を踏まえ、職員の確保とクラス人数体制を検討する。</p>	<p>○月間平均児童数</p> <p>【目標】 108名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度に向けて職員募集活動に参加し、安定した職員確保をする。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">子どもと保護者</p>	<p>■ <u>子育てのサポートセンターとして機能する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保育参観、参加をして子育ての楽しさを知る支援をする。 ○ 絵本の読み聞かせを推進 ○ 家庭への食育啓蒙 ○ 保護者へのアンケート調査を実施 ○ 第三者評価の実施 	<p>◆ 発達に遅れが見られる子を早期に保護者を含めて個別にサポートする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者によってはわかりやすく具体的に伝える方法を保育士は共有し保護者も支援する。記録をとる。 ・ 食育計画と食育だよりの充実。 ・ 経営、保育の振り返りを行う。 ・ 12月実施予定
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">職員</p>	<p>■ <u>職員のスキルアップと働きやすい職場づくりを目指す。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保育士のキャリアパスの構築に向けて研修計画の作成を見直す。 ○ 保育士の業務における ICT 化を推進する。 ○ 保育士確保により安定した就労時間とする。 ○ 人間性を高め、視野を広げて自ら学ぶ。 	<p>◆ 園の組織表を確定し、園長、総括主任(各1名)副主任3名、専門リーダー5名職務分野別リーダー(3名)とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各リーダーは新たな職務と研修に参加する、 ・ 登園、降園を iPad で入力することで延長料金を円滑に徴収する。

事業所名称	ルンビニ保育室 花びら	定員	12名
施設区分	小規模保育事業A型		
保育の特色・方針	<p>ルンビニ保育室『花びら』は、国の勧める保育新制度の中で新しく誕生した小規模保育事業という形態の施設です。</p> <p>これまでの保育園と違い、対象年齢は0歳～満3歳まで。利用人数は最高19名まで。これらの特徴を最大限に活かし、完全個別対応の担当保育を行います。尚、保育理念、保育方針はルンビニ両園に準じます。</p>		
社会福祉への取り組み	<p>浅羽中央公園の利用、および自治会奉仕作業への参加。</p> <p>実習生、ボランティア、見学者の受け入れ。</p>		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	<p>■個別対応</p> <p>○一人一人の家庭と育ちに寄り添い、個々にあった保育を提供します。</p> <p>○保護者の相談に乗り個々にあった助言と必要な援助を行う様務めます。</p>	<p>○生活リズムの違いを把握し、子ども達にとって無理のない施設生活を提供する。</p>
財務	<p>■必要物品の見極め</p> <p>○1年が経過し、必要物品殆ど揃った。</p> <p>■職員配置</p> <p>○園児数が定員数でスタートし、収入が増えるものの、園児の長時間保育利用が多く、人件費（時間外手当）が増えると見込まれる。</p>	<p>○4月当初入園児童数12名</p> <p>0歳児 3名</p> <p>1歳児 4名</p> <p>2歳児 5名</p> <p>目標14名</p>
業務	<p>■個別対応と担当保育の確立</p> <p>○花びらに在籍一年目の職員のみならず、2年目の職員に対しても指導及び、マニュアルの徹底。</p> <p>○保護者と地域への情報発信。</p> <p>■保育所保育指針改定</p> <p>○保育所保育指針の施行に合わせた内容への理解。</p>	<p>○個別対応の理想的な在り方について見識を高める。</p> <p>○外的要因による子どもの怪我ゼロを目指します。</p>
人材	<p>■職員のスキルアップ</p> <p>○保育士のキャリアアップ制度が本格始動するまでに、各種外部研修に参加しやすい人員配置を計ります。</p>	<p>○ルンビニ保育園との連携体制を確立し、研修に出られる機会をつくる。</p>